



初めてのケンブリッジ・ヒューズホール英語研修



～寄せられた参加者の思いをここに～

東京女子大学創設者の一人である安井てつ先生が学んだケンブリッジ・ヒューズホールに、その足跡を訪ねるとともに同窓生の英語のブラッシュアップを目的としてケンブリッジ英語研修を企画しました

この初めての同窓会の企画は、2013年7月29日から8月5日の日程で実施し、1964年卒から2012年卒の同窓生18人が参加しました。

その方々に感想を寄せていただきましたので一部をご紹介します。

日 程

	9 : 00	13 : 00	18 : 00
7月29日	東京発	ケンブリッジ着	
7月30日	英語研修：シェイクスピア劇他	マナーハウス見学	
7月31日	英語研修：カレッジ英語他	ケンブリッジ市内散策	シェイクスピア劇観賞
8月1日	英語研修：プレゼンテーション	ケンブリッジ近郊散策	バーベキュー
8月2日	英語研修：プレゼンテーション	ロンドンへ	グローブ座で観劇
8月3日	ロンドン自由行動（夕方まで）		ロンドン支部との交歓会
8月4日	ロンドン発		
8月5日	東京着		

ケンブリッジ・ヒューズホール



ケンブリッジへ（写真1）



ヒューズホールカレッジ正門より(写真2)



Margaret Wileman Building（写真3）

- ◇ ヒースローからケンブリッジへのバスの窓に、二回も二重の虹が立ち、私たちを歓迎！（写真1）
- ◇ 正面に見える建物（Fenners Building）には、安井先生をたたえ The Yasui Suite*と名付けられたお部屋があります。先生の偉大さを改めて感じました。（写真2）
- ◇ 新渡戸記念室に掲示されている安井先生のお写真に写るヒューズホールで最も古い建物の前に立てた時は、感動しました。（写真3）
- ◇ 今回の旅行は卒業後のリベラルアーツ教育といった趣でした。
- ◇ 3年前から国際交流を目的に習い始めた英語のブラッシュアップを考えていた私には、今回の同窓会が

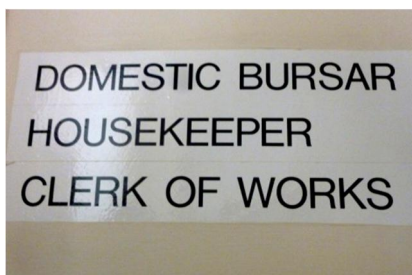
企画したケンブリッジの英語研修は願ってもないお話でした。結果としては、英語学習の難しさを改めて感じる事にはなりました。

* The Yasui Suite には現在住んでいる方がいます。お部屋の外観は72年館だよりをご覧ください。

英語研修：講義



英語の授業風景 (写真4)



カレッジ内の看板 (写真5)



シェイクスピアの講義 (写真6)

☆ ケンブリッジでは講義の大部分をイングリット先生が担当されました。先生の幅広い教養と知識溢れる講義は毎日知的な刺激を受けました。(写真4)

☆ 英語と米語の違い、Oxford や Cambridge での大学用語を学んだ。

☆ カレッジで使う独特な言葉や習慣の講義がありました。フェローやバーサー等の言葉を聞いたり使っているとずっとカレッジ生であるかのような不思議な感覚に陥りました。(写真5)

☆ 俳優・演出家であるピーターさんのシェイクスピア劇の講義はシェイクスピアの活躍した時代背景の説明からテンペストの作品の説明までさすが俳優という生き生きとしたテンポのいい講義でした。現代の私達がどう感じるかを重視し、テンペストでは「大航海時代の侵略者、被侵略者の対立」との見方を示されました。(写真6)

英語研修：プレゼンテーション



安井てつ先生についてのプレゼン (写真7)



教室外観 (Garden Lecture Room)



最後のプレゼンター (写真8)

☆ プレゼンテーションを通して、安井てつ先生と女子大の原点に触れることができたのも大きな喜びです。(写真7)

☆ 皆さまのプレゼンテーションは、本当に心打たれました。これまでの人生で積み重ねられた経験からくる言葉には他者を納得させる重みがありました。

☆ プレゼンテーションでは英語が下手なことを気にすることよりも、まず「自分の思いを伝える」ということが大事なのだと気づかされました。

☆ コミュニケーション力と語学力は両方とも必要であり、語学力だけでなくコミュニケーション力も

必要なことを今回の研修で思い出させてもらいました。

☆ 研修最終日のプレゼンテーションは、SOMETHING*に触れたような貴重な経験でした。

☆ 最後のプレゼンターが部屋にあったピアノでショパンを弾いた。先生はじめ皆さんが喜び、とてもよい授業の締めくくりになった。(写真8)

*建学の時から脈々と受け継がれている思いで、安井先生がよく口にした言葉です。

ケンブリッジの学寮・構内・街中



寮の一室(写真9)



クリケット場(写真10)



キングスカレッジ(写真11)

☆ 学生時代にほんの少しタイムスリップし、当時はできなかった寮生活も疑似体験しました。夜一人になってその日のことを振り返り、朝は少々早起きをして机に向かうのが新鮮でした。(写真9)

☆ カレッジの寮に4泊し寝る時間を惜しんでプレゼンテーションの準備をして、学生にもどったかのような時間を過ごせたことは実に得がたいことでした。

☆ 寮はシャワールームがついた適度な広さの個室になっており、暖房が完備している。

☆ 各々にIDカードが渡され、本部やカレッジなどの建物に入る時、食事の支払いをする時にも使った。またPCのIDをももらいカレッジ生と同じ部屋で夜遅くまで、調べ物をしたのもカレッジの一員のような気がしてとてもわくわくした。

☆ カレッジにはクリケット場の緑色の芝生が広がっている。女子大時代の体育の時間に長いスティックを持たされて、ボールを追っかけたのを思い出した。源はここにあったのかと大発見だった。(写真10)

☆ 放課後ケンブリッジの街を歩きながら歴史を教えられた。(写真11)

シェイクスピア劇いろいろ



グローブ座での観劇風景(写真12)

☆ トリニティカレッジ内で演じられた「ハムレット」では手作りの衣装や小道具などがあり、時折笑わせる演技をして、楽しませる工夫をしていたことが印象深かったです。ロンドンで見たグローブ座での「インディアンテンペスト」とはまた違った魅力がありました。

☆ グローブ座では観客がドレスアップしてくるかと思いきや、ラフな格好で演劇を楽しんでいた。たびたび出かけている雰囲気だ。英語が聞き取れたら

もっと楽しめたのと思った。(写真12)

* 72年館だよりにケンブリッジ英語研修(山田会長)としてUPされていますのでお読みください。